

# 日本民俗学会第 57 回年会 第 1 回サーキュラー

2005 年 5 月 15 日 日本民俗学会第 57 回年会実行委員会

## ごあいさつ

このたび、日本民俗学会第 57 回年会を下記の通り開催するはこびとなりましたので、ご案内申し上げます。  
皆様方の多数のご参加をお待ちいたしております。

日本民俗学会第 57 回年会実行委員会

### 日 程

2005 年 10 月 8 日 (土)・9 日 (日)

### 会 場

[研究大会] 東京大学駒場キャンパス (東京都目黒区駒場 3-8-1)  
[懇親会] 駒場エミナース (東京都目黒区大橋 2-19-5)

### 参 加 申 込

参加・発表を希望される方は同封のはがきにてお申し込み下さい。  
なお、参加されない場合は、返信は不要です。

はがきの返送期限は 2005 年 6 月 15 日 (水) です。

### ア ク セ ス

#### [研究大会会場]

京王井の頭線「渋谷」駅より各停で 2 つめの  
「駒場東大前」駅下車、徒歩 3 分（急行はと  
まりません）。

#### [懇親会会場]

同じく「駒場東大前」駅下車、徒歩 7 分。

東北・上越新幹線

中央線

上野

山手線

#### [主要駅からの所要時間]

- ▽東京駅より 45 分
- ▽品川駅より 30 分
- ▽新宿駅より 20 分
- ▽渋谷駅より 7 分
- ▽京急羽田空港駅より 55 分
- ▽モノレール空港第 2 ビル(ANA)  
より 60 分
- ▽モノレール空港第 1 ビル (JAL)  
より 55 分

※京王井の頭線「駒場東大前」駅  
まで、乗換時間を含む目安。



会場の駒場キャンパスは、都心にあ  
る本郷キャンパスとは異なります。  
お間違えのないようご注意ください。

## 参 加 費

研究大会参加費 4,000 円

懇親会参加費 一般会員 6,500 円 学生会員 4,500 円

※納入方法および納入期間については、6月末ごろに参加・発表申込者の方にご送付する  
第2回サーキュラーにてお知らせいたします。

※納入期限後および当日の参加費は、研究大会・懇親会のいずれも 1,000 円増しとなります。

## プログラム

### 8日(土)

- 09:30-10:30 理事会 (レヴェン・ヴェール セミナールーム)  
10:30-11:30 評議員会 (同上)  
11:30- 参加受付開始 (13号館 1F ロビー)  
13:00-17:00 公開シンポジウム  
「野の学問とアカデミズム：民俗学の実践性を問う」  
(13号館 1323号室)

- 17:00-18:00 奨励賞授与式、会員総会 (13号館 1323号室)  
18:30- 懇親会受付開始 (駒場エミナース・ダイヤモンドルーム前)  
19:00-21:00 懇親会 (駒場エミナース・ダイヤモンドルーム)

### 9日(日)

- 09:00- 受付開始 (13号館 1F ロビー、発表者数によっては開始時刻を 30 分繰り上げ)  
09:30-11:30 午前・研究発表 (12・13号館、発表者数によっては開始時刻を 30 分繰り上げ)  
11:30-13:00 昼食  
13:00-16:30 午後・研究発表 (12・13号館、発表者数によっては終了時刻を 30 分繰り下げ)

※9日の開始・終了時刻は、発表プログラムの確定する8月下旬に最終的に決定いたします。決定内容については、第3回サーキュラーおよび年会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/fsj/nenkai/57-tokyo.html> によって広報いたします。

## 研究発表形式

### 一般発表

- ▽発表 20 分・質疑応答 5 分・移動 5 分を 1 ユニットとします。  
▽一般発表を行なう方は、同封の返信はがき A にて「研究発表登録」を行なってください。  
▽発表内容は、日本民俗学会および関連する諸学会等において、未発表のものに限ります (口頭発表・印刷物などすでに発表したものと同一内容の発表の禁止)。  
重複発表が判明した場合は、参加費の納入の如何にかかわらず、発表をお断りすることとなります。  
▽発表枠は、「分科会発表」と合わせて、最大 140 用意しております。  
▽使用できる機材は、PC 用液晶プロジェクタ・OHP・スライド・ビデオ・DVD プレーヤです。PC 本体は各自でお持ち込みください (LAN の設備はございません)。

### 分科会発表

- ▽統一テーマのもとで 3 名以上 6 名以下の発表者からなる「分科会」を

受けつけます。分科会発表には、1名の代表者が必要となります。

▽分科会発表の場合、代表者の方だけでなく、その他の発表者の方も「研究発表登録」を行なっていただきます。同封の返信はがき A にてお申し込みください。

▽分科会の時間枠は、(発表者数×30分)−移動時間5分とします(発表者4名なら115分となります)。枠内の時間配分は、分科会代表者にお任せいたします。

▽分科会で使用できる機材は一般発表に準じます。

▽万が一「分科会発表」希望が相当多数にのぼり、「一般発表」の会場を十分に確保できなくなる事態が生じた場合は、適宜発表調整を行なうことがあります。予めご了承ください。

#### ポスターセッション

▽ポスターセッションは行ないません。

#### 発表資格について

▽一般発表・分科会発表のいずれも、日本民俗学会会員であり、かつ2005年度学会会費を納入済みの場合にのみ、行なうことができます。

#### 返信はがき

▽同封の返信はがきは(A)研究発表登録(兼年会参加登録)用と、(B)年会参加登録のみの2種類があります。

▽年会に参加される方は、研究発表の有無に応じて、いずれか一方をお送りください。

▽年会に参加されない方は、一切返信は不要です。

※今回の返信はがきは「料金受取人払」となっており、返信されますと65円の郵送・手数料がかかります。

経費節減のため、年会不参加の場合でも、その旨のご連絡はご無用に願います。また、返信はがきを、住所変更通知など、年会業務とは無関係な連絡には流用なさらぬようお願い申し上げます。

※個人情報の保護について……今回返信はがきにてお送りいただいた個人情報については、第57回年会にかかる事務においてのみ利用いたします。

#### 今後の予定

返信はがき郵送期限 第2回サーキュラー	6月15日(水) 6月30日ごろ発送予定。 内容……発表要領・発表要旨執筆要領(発表予定者のみ)、会費納入要領、その他年会参加に関する連絡事項、書籍販売申込要領、出張依頼状の同封(希望者のみ)
------------------------	--

会費納入期限 発表要旨提出期限 書籍販売申込期限 第3回サーキュラー	8月1日(月) 8月3日(水) 8月3日(水) 9月1日ごろ発送予定 内容……年会タイムテーブル、会場案内、発表案内、各発表会場プログラム
---	---

## 公開シンポジウム

- ▽テーマ「野の学問とアカデミズム：民俗学の実践性を問う」
- ▽日程……2005年10月8日(土) 13:00～17:00(第57回年会)
- ▽企画趣旨……7月に行なわれるプレ・シンポジウムの内容——民俗学をめぐる各フォークロリスト群の相対的位置関係や「在野」性の問題など——をふまえた上で、本公開シンポジウムにおいては、将来的に民俗学がどのように社会的に機能しうるのか、「民俗学への市民参加」「民俗学の応用・実践における連携・分担のあり方」といった点に、より焦点を絞り込む。プレ・シンポジウムが民俗学の過去～現在について主に取り扱うとするならば、本公開シンポは民俗学の現在から将来について主に討議するものとなる。
- ▽基調講演……伊藤亞人
- ▽パネリスト……佐藤健二・小国喜弘・鬼頭秀一
- ▽司会……菅豊

## プレ・シンポジウム

- ▽テーマ「野の学問とアカデミズム：民俗学の学史から検討する」
- ▽日程……2005年7月10日(日) 13:00～(第817回談話会・成城大学)
- ▽企画趣旨……10月の公開シンポジウムと絡め、主に民俗学という学問の歴史的な展開を追ながら、アマチュアリズムとアカデミズムの関係性を整理する。作業仮説として、草創期のアマチュア・フォークロリスト→アカデミック・フォークロリストの出現→パブリック・フォークロリスト(学芸員など)やアプライド・フォークロリスト(マスメディアやコンサルタント、デヴェロッパーによる民俗学の応用)の登場、という大きな流れを設定し、それらの担い手がどのように絡み合ってきたのか、将来的にどのように連携・分担が可能なのか、という点について検討する。アカデミズムとアマチュアリズムを単純な上下関係に回収しない。周辺諸学との比較の視点も盛り込む。
- ▽発表者……杉本仁・鶴見太郎・中村淳

## 年会事務局

東京大学駒場キャンパス14号館4階 中村研究室気付

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

[TEL] 03-5454-6242

[FAX] 03-5454-4351

[E-mail] 57-nenkai@juntak.c.u-tokyo.ac.jp

[URL] <http://wwwsoc.nii.ac.jp/fsj/nenkai/57-tokyo.html>

